学級活動（１）学習指導案

日　時　令和７年12月３日（水）
第５校時　13:25～14:10
学校名
対　象　第３学年　組　　名
会　場　２階第３学年　組教室
授業者

１　議題

「３－１冬祭りをしよう」
学級活動⑴　ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決

２　育成を目指す資質・能力

・　みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解し、意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けるようにする。
・　楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践することができるようにする。
・　楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団生活に取り組もうとする態度を養う。

３　評価規準

ア　よりよい生活を築くための知識・技能	イ　集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	ウ　主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
①　学級会の意義や計画委員会の役割など、話合い活動に必要な進め方を理解し、身に付けている。 ②　意見の比べ方やまとめ方を理解し、話合い活動の進め方を理解している。 ③　みんなで楽しい学級活動をつくることの意義を理解し、決めたことを実践し振り返るために必要な方法を身に付けている。	①　議題について自分の考えをもち、話合いに見通しをもちながら考え、表現している。 ②　解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図っている。 ③　合意形成したことについて協力し合って実践している。	①　楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら計画委員会の活動や話合いの準備に取り組もうとしている。 ②　自己の考えを生かし、見通しをもったり振り返ったりしながら積極的に学級会に参加しようとしている。 ③　楽しい集会活動にするために、見通しをもったり振り返ったりしながら役割を果たして取り組もうとしている。

4　指導観

⑴　議題観

本議題は、小学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）第６章特別活動

〔学級活動〕

２　内容⑴　ア　学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見いだし、解決するために話合い、合意形成を図り、実践すること。

３　内容の取扱い⑴　指導に当たって〔第３学年及び第４学年〕

理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見も受け入れたりしながら、集団としての目標や活動内容について合意形成を図り、実践すること。自分のよさや役割を自覚し、よく考えて行動するなど節度ある生活を送ること。

を受けて設定した。合意形成を図り、協働して実践に取り組む。さらに一連の活動を振り返り、次の課題へとつなげていく。

⑵　児童・生徒観

ア　児童の実態

本学級は、今年度学級編成を行い担任も替わった学級である。本学級の児童は、前年度から係活動を活発に行ってきた様子で、積極的に取り組む児童が多い。友達同士の関わりも多く、児童一人一人が明るく元気に活動し、活気のある学級である。

一方で一部の児童には、今まで行ったことのない学習や活動に取り組むことに対して、不安感からか、マイナス発言や積極的ではない様子があり、１学期は全体的に落ち着きがない様子が見られた。２学期はだいぶ落ち着いているが、伝えたい思いが強く、友達や教師の話を最後まで聞かずに発言してしまうこともある。学習規律を整えながら、相手のことを考えて発言・行動ができるように指導している。

学級活動に関するアンケートでは、「学級会に進んで参加している」という問いに、８割程度の児童が肯定的に回答しており、積極的に参加しているという意識がある。一方で「学級会でよりよいアイデアを考えているか」や「みんなが納得するまで諦めずに話し合っているか」という項目では、３割程度「いいえ」の回答がある。「クラスをよりよくするために議題を見付けようとしているか」や「司会グループを助けているか」と言った項目も同様であるため、今後も一連の活動を意識し、次に生かしていきたいという気持ちがもてるように、指導法を工夫していく必要がある。

また、学級会の進め方については、徐々に理解が深まってきている。自分の考えをもって話合い活動に参加することができるようになってきているが、積極的に発言できる児童はまだ一部である。質問や付け加えの意見、あるいは新しい意見や折衷案などを出せる児童が少しずつ増えてきている。１学期は心配意見がたくさん出され、消去法で決まることが多かったが、２学期以降は前向きに話し合いに臨む姿が増えてきている。どんな意見でも認められ、受け止めてもらえるという、安心感のある学級を引き続きつくっていく。その中で、温かい人間関係を形成し、自己と他者を認め合い尊重する態度を育んでいく。

イ　学級活動(1)「学級や学校の生活づくり」についての実態

活動全体

学級活動のはじめにオリエンテーションを行い、学級活動(1)について「３年１組がもっと楽しく仲良くなれるよう、みんなで取り組みたいことをみんなで決めて、みんなで話し合い、みんなが納得して決まったことを、みんなで一緒に実行する時間」ということを確認し、学級会の進め方や発表の仕方、話合いの約束などについて共通理解を図った。

司会グループ・計画委員会

司会グループは、司会１名、副司会１名、黒板記録２名、ノート記録１名の計５名で構成されている。ノート記録は、児童の実態により、「書く」ことが難しい場合、事前に教員と書ける部分を記述しておき、当日はマークの記述だけにすることや、キーワードのみ記述するなど、書き方を選択させ、適宜教師が声掛けをしながら行っている。また、教師が年度当初に、意図的に決めたグループの輪番制で行っている。役割については、前回と違う役割を経験できるように声を掛けている。学級会の１週間前には、計画委員会で議題の選定を行い、朝の会の時間に学級全体の承認の上、議題を決定している。その後、司会グループと提案者、担任で計画委員会を休み時間や給食時間に開く。提案理由や決まっていること、話し合うことなどを決定する。それらを基に事前に打ち合わせをし、前回の学級会の振り返りから話合いのめあてや話し合うことの内容を確認している。司会グループは、どのような意見が出るか把握するために、事前に学級会ノートに目を通して確認している。出た意見は、朝の会などで学級全体に確認し、イメージの共有を図る。司会グループは事前の打ち合わせで、どんな話合いになるのか考えることで、見通しをもって学級会の進行ができるように指導している。

提案理由の設定

提案理由は、計画委員会で議題を選定後に設定する。「今」（学級の現状や課題）、「こうして」（課題を解決するために何をするのか）、「こうなる」（学級会や集会活動を通して目指す姿）の３段階に分け、端的な文で作成している。また、話合いで合意形成をする際に、よりどころとなるキーワードを決め、事前に学級全体で確認をするようにしている。

学級会の進め方

学級会は、話合い 35 分、振り返り５分、先生の話５分で進行している。自治的活動の範囲を超えた話合いが進められている場合や、人権上の配慮が必要な場合は、その都度指導を行う。進行については、司会グループを中心に、学級全体で助け合いながら進めていくようにしているが、話合いが滞る場面では、教師の助言を加えながら進めていくことが多い。

話合い活動

８割程度の児童が、自分の思いや考えをもって話合いに参加することができる。一方で思いを言葉にすることや、ノートに書くことが難しい児童もいるため、口頭で聞き取ったり、選択肢で選んだりしている。また、発言できる児童には、偏りが見られている。話を聞く際には、体を相手に向けたり、頷きながら聞いたりして、話合いに参加している意思を全体に示すように指導している。友達の意見を最後まで聞くことや、挙手をして発言をするなど、話合いの土台となる部分が育つよう指導を続けている。心配意見に対して、解決案や妥協案を出し、折り合いを付けて合意形成を図ることができるように指導している。

合意形成の仕方

賛成意見は赤、心配意見は青のマグネットを貼り、賛成意見と心配意見の数を可視化している。心配意見には改善案を出すように指導しており、心配な理由をみんなで解決していけるようにしている。どんな場面でもお互いの考えを大切にし、全員が納得するまで話し合うことが大事であると指導している。また、自分たちが取り組むことを決める時間なので、心配だから取り組まないのではなく、皆で改善案を考え、納得して折り合いが付けられるように指導している。

終末の助言

終末の助言では、司会グループの頑張りや、折り合いを付けた意見や態度、友達の気持ちを考えた意見、提案理由に沿った意見などを、具体的に取り上げて称賛し価値付けている。また、これまでの学級会での話合いの改善点や成長した点を取り上げ、次回の学級会につなげている。

【これまでの学級会での議題、話し合ったこと】

回数	月日	議題	話し合ったこと
第０回	４月上旬	学級会オリエンテーション	・学級会とは ・議題選定、話合いの進め方、計画委員会
第１回	４月 30 日	「３年１組なかよくなろう集会をしよう①」	・集会で何をするか。
第２回	６月３日	「３年１組なかよくなろう集会をしよう②」	・集会で何をするか ・盛り上げるための工夫
第３回	６月 25 日	「もっと楽しく集会」	・もっと楽しくなる工夫 ・会を盛り上げる工夫
第４回	７月１日	「新しい学校でもがんばってね集会をしよう」	・何をするか ・盛り上げる工夫
第５回	10 月 2 日	「ようこそ、３－１集会をしよう」	・何をするか ・盛り上げる工夫
第６回	10 月 24 日	「秋祭りをしよう」	・何をするか ・盛り上げる工夫
第７回	11 月 11 日	「今までありがとう集会をしよう」	・何をするか ・パワーを送る工夫

学級活動⑵・学級活動⑶の実態

学級活動⑵・⑶は、年間計画に基づき指導している。本学級では、５月下旬までの学級のよいところと課題を児童と共に考え、学校教育目標の下、教師と児童一人一人の思いや保護者の願いを基に学級目標を考えた。

> ３年１組　学級目標
> めりはり・きりかえ・きまりをまもる！　みんな優しく協力できる３の１

年間を通して、「学級目標」を学級づくりの基盤として活動に取り組んでいく。

⑶　教材観（議題選定の理由）

本議題「冬祭りをしよう」は、行事や外部へ出かける活動の多かった２学期に、クラスで協力したり、一致団結したりして過ごした３－１みんなで、最後に楽しみたいという願いから出されたものである。計画委員会では、３学期に向かってさらに「もっと周りに優しく、協力できるようなクラスになりたい。」ということをクラスで確認した。「２学期最後に３－１で思いっきり楽しみたい。」「お祭りの準備をすることで、クラスで協力することが増える。」という２つの理由を基に選定した。計画委員は、提案理由を基に選定したことをクラス全体に話し、承認を得た。これまでの経験を生かしながら、多様な意見のよさが生きる話合いになることを期待する。

５　指導計画と評価計画

日時	○児童の活動	◇指導上の留意点	□評価規準（評価方法）
11 月 26 日（水） 中休み	○　議題を選定する （計画委員会）	○　時期や学級の実態に合わせた議題を選定する。	ウ-① 楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら計画委員会の活動や話合いの準備に取り
11 月 27 日（木） 朝の会	○　議題について確認し、決定する。	○　学級全員で決定する。	

	（学級全員）		組もうとしている。（観察・記録） ア−① 学級会の意義や計画委員会の役割など、話合い活動に必要な進め方を理解し、身に付けている。（観察・記録） イ−① 議題について自分の考えをもち、話合いに見通しをもちながら考え、表現している。（観察・記録・活動計画表）
11 月 28 日（金） 朝の会 中休み 昼休み等	○　提案理由、話合いのめあて、決まっていること等の確認。 ○　学級会の進行の仕方を確認する。 ○　学級会コーナーに掲示する。 （計画委員会）	○　前回までの学級会の経験を生かせるように指導・助言する。 ○　提案者の思いや願いを学級全体の問題として考え、提案理由を精査する。 ○　全員が目的を理解した上で話し合いに臨めるようにする。	
12 月１日（月） 朝学習	○　学級会ノートに自分の考えを書く。（学級全員）	○　活動計画書を基に、提案理由を踏まえた自分の考えを記入する。	
12 月２日（火） 中休み 昼休み等	○　学級会ノートを読み、書かれた意見を整理する。（計画委員会）	○　出された意見から話合いの見通しがもてるように助言する。 ○　意見の短冊を用意し、意見を精査する。帰りの会などで全員の承認を得る。	
12 月３日（水） ５時間目 （本時）	○　解決方法について多様な意見のよさを生かしながら合意形成を図っている。	○　児童の言動のよかったところを価値付ける。 ○　児童に実践が楽しみになるような期待を伝える。 ○　次回に向けた本時の課題について気付くことができるように助言する。	ア−② 意見の比べ方やまとめ方を理解し、話合い活動の進め方を理解している。 （観察・記録・学級会ノート） イ−② 解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図っている。（観察・記録・学級会ノート） ウ−② 自己の考えを生かし、見通しをもったり振り返ったりしながら積極的に学級会に参加しようとしている。 （観察・記録）
12 月４日（木） 朝の会 昼休み等	○　学級会で決まったことを掲示し、役割分担をする。	○　朝の会等の時間を使って、役割分担を行う。	ア−③ みんなで楽しい学級活動をつくることの意義を理解し、決めたことを実践し振り返るために必要な方法を身に付けている。（観察・記録） イ−③
12 月５日（金） 以降 休み時間等	○　自分たちで決めたことが実践できるように準備をする。	○　必要な道具などは事前に申請するよう声を掛け、準備に間に合うように用意する。	

	○　準備が終わった役割は、終わっていない役割の手伝いや、全体の進行の準備（プログラムや飾りつけなどの作成）を手伝う。	○　当日までに全ての役割の準備が終わるように、休み時間などを有効に使ってみんなで準備を進めていけるようにする。	合意形成したことについて協力し合って実践している。（観察・記録） ウ−③ 楽しい集会活動にするために、見通しをもったり振り返ったりしながら取り組もうとしている。（観察・記録・学級会ノート）
12 月 12 日 （金） ３時間目	○　実践を行う。 ○　事前の準備や当日の活動を振り返る。	○　終末の助言で、これまでの頑張りと次の活動への意欲が高められるようにする。	

６　指導に当たって

⑴　目指す児童像

目指す児童像
- ◇　友達と仲よく、協力し合いながら活動する子
- ◇　学級目標の達成にむけて、課題を発見したり解決したりしようとする子
- ◇　互いのよさや個性を認め、自己のよさを発揮して集団の一員として役割を果たせる子

⑵　班テーマに迫るための手だて

班テーマを「一人一人が成長を実感できる学級活動～一連の活動を通して～」と設定した。一人一人が成長を実感できるとは、学級活動をとおして「変化」を感じられることである。「変化」とは、大きく３つの要素が存在する。「自己実現を踏まえた自分自身の変化」「他者との人間関係の形成による変化」「新たに醸成されていく社会参画に関わる学級の変化」である。

これらの「変化」を感じられるようにするためには、副テーマに設定した「一連の活動」が不可欠であると考えた。問題の解決、解決方法等の話合い、解決方法の決定、決めたことの実践、振り返り、次の課題解決へ、と一連の活動を常に念頭に入れた手だてを設定し、実践していく。

手だて１　計画委員会の工夫　～事前の活動～

計画委員会を行う際には、「話合いの進め方」や「よかった点」「困った点」について確認する。１回限りではなく次に引き継がれるように工夫する。その後、役割分担を行う。計画委員会では、話合い活動当日までに以下のような準備を進めていく。

- 議題の選定、提案理由の確認、練り上げ（学級全体で共有する。）
- 話し合うこと、決まっていること、話合いのめあての決定（学級全体で共有する。）
- 事前の意見の集約とイメージの共有（短冊に書き出し、掲示して質問を受け付ける。）
- 話合いの進め方や流れや時間配分の確認
- 合意形成の手順や方法の確認、時間配分の確認

手だて２　提案理由の工夫　～３段階構成の作成～

提案理由は、「今（現状）」「こうして」「こうなる」の３段階で作成する。提案理由は学級目標を踏まえて、学級目標の達成につながるように作成をするように指導する。また、話合いのよりどころとなるように、具体的な言葉や自分事となるような表現を意識して用いて作成するようにする。計画委員会が提案理由を作成後、学級全体で共有する。必要があれば、内容を追加修正するなどして学級の全員が納得し、イメージの共有が図れるようにする。

手だて３　振り返りの工夫　～話合い活動の達成度の掲示～

毎回の話合い活動の振り返りにおいて、学級の話合いや自身の取り組みに対する自己評価を４段階のアンケートで集計し、クラス全体で数値化したものを掲示する。前回の話合い活動の変容を毎回掲示していくことで、学級全体の話合い活動の成長や変化を認識できる。内容は、以下の通りである。

① めあてを意識して取り組むことができましたか。
② 今日のクラスの話合いはどうでしたか。
③ 今日の自分の取り組みはどうでしたか。
④ 今回の話合いで集会が楽しみになりましたか。

手だて４　終末の助言の工夫　～次時につながる言葉掛け～

終末の助言では、司会グループへの称賛、折り合いを付けて話合いをする言動、話合いにおける言動において具体的な姿を取り上げ、価値付けしていく。また、児童が実践を楽しみになるような助言やこれからの準備や活動の意欲を高められるような言葉掛けを行う。

手だて５　学習環境づくりの工夫　～学級活動コーナーの設置～

学級活動コーナーを教室後方に設置し、次回の学級会の議題や提案理由、話し合う内容をいつでも確認できるようにしている。さらに、学級会や係活動、集会活動等において、児童が主体的に活動できるように、自由に使える文具を用意する。その他、集会の足跡や係お知らせボード等、児童が主体的に活動できるように環境づくりをする。

８　本時の展開

⑴ 議題「３－１冬祭りをしよう」

⑵ ねらい

学級生活をより楽しく豊かなものにするため、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力し互いの良さを認め合い、みんなが楽しめる内容や計画を考えることができるようにする。

⑶ 提案理由

今　　→行事たくさんの２学期、がんばったから、
こうして→みんなと協力して準備して、２学期最後にみんなで思いっきり冬祭りを楽しんで
こうなる→もっとやさしく、協力できるような学級になって、３学期もがんばりたい。

⑷ 決まっていること

- 12 月 24 日(水) 5 時間目
- 場所は教室
- お店は射的&的当て、あみだくじ引き、わなげ、どんぐりすくいの４個、20 分交代で店番をする。

⑸ 教師の指導計画

活動内容	●指導上の留意点　◆評価規準（評価方法）
1　始めの言葉 2　司会グループの紹介 3　議題の確認 4　提案理由の確認 5　話合いのめあての確認 6　決まっていることの確認 7　話合い ⑴　全体の工夫 ・　スタンプラリーにする。 ・　くす玉	めあて ・　みんなが嬉しくなる工夫を考えて話し合おう。 ・　友達の意見を聞こう。 ◆ア-② 意見の比べ方やまとめ方を理解し、話合い活動の進め方を理解している。（観察・記録） ●　以下の場合は指導・助言を行う。 ・　生活指導上、人権上の課題があるとき ・　自治的範囲を超えたとき

・　音楽をかける。 ・　おみこしを作る。 ・　はちまきをする。 ・　たいこをたたく。 ⑵　お店の工夫（共通） ・　折り紙やどんぐりで景品を作る。 ・　取れなくても景品を用意する。 ・　ゲームができる場所を多くする。 ・　苦手な人でもできるように場所をかえる。 ・　あたりやレアをつくる。 8　決まったことの発表 9　振り返り 10　先生の話 11　終わりの言葉	・　話合いが混乱したとき ●　児童が話し合っている様子（発言・行動・つぶやき）を記録し、終末の助言で取り上げる。（友達や学級全体のことを考えた言動、折り合いを付けて話合いをまとめるような発言等） ◆イ−② 解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図っている。（観察・記録・学級会ノート） ◆ウ−② 自己の考えを生かし、見通しをもったり振り返ったりしながら積極的に学級会に参加しようとしている。（観察・記録・学級会ノート） ●　よかった点や課題について自己評価し、友達のよかった点についても相互評価できるように助言する。 ●　終末の助言 1　前回の話合いと比べてよかった点、折り合いをつけた言動や合意形成したことへの価値付けや称賛 2　提案理由を意識した意見や建設的な発言、意欲的に参加していた児童への称賛 3　計画委員会への労い 4　今後の課題 5　今後の見通しや実践に向けての意欲付け

⑹　授業観察の視点

・　提案理由に沿って話合いを行うことができていたか。
・　教師の助言の内容、タイミング、回数は適切であったか。

⑺　板書計画

第八回　学級会

議題　3の1冬まつりをしよう

提案理由
今→行事たくさんの2学期がんばったから
こうして→**みんなと協力して準備**して、2学期最後に
みんなで思いっきり楽しんで
こうなる→もっとやさしく、協力できるような学級になって3学期もがんばる。

めあて
・　**みんなが嬉しくなる工夫**を考えて話し合おう
・　友達の意見を聞こう

決まっていること
・　十二月二十四日水曜日　五時間目　教室
・　お店は射的&的当て、あみだくじ引き、わなげ、どんぐりすくいの4個、二十分交代で店番をする。

話し合うこと
⑴全体の工夫
・スタンプラリーにする。
・くす玉
・音楽をかける。
・おみこしを作る。
・はちまきをする。
・たいこをたたく。
⑵お店の工夫（共通）
・折り紙やどんぐりで景品を作る。
・取れなくても景品を用意する。
・ゲームができる場所を多くする。
・苦手な人でもできるように場所をかえる。
・あたりやレアをつくる。